

## 「市長との座談会」 市民の皆様からの質問や意見交換などの要約

日 時 令和元年10月5日（土）午後2時から

会 場 文化会館小ホール

藤田市長が資料に基づき、コミュニティセンター、市民福祉交流センター「加茂美人の湯」、市民バス運行事業を説明し、その後、質疑応答がありました。

### コミュニティセンターについて

（質問・意見） コミュニティセンターの入浴料金シミュレーションに200円と300円がある。財政健全化プロジェクトチーム（PT）ができた時点で、入浴料金の検討はあったのか。

（企画財政課長） PTは8月6日にスタートした。この件も含め、事業の見直し等を行っている。途中経過を発表できる段階ではない。入浴料金を200円にするか300円にするかも検討中。

（質問・意見） 近隣の市町村にある同様の施設の料金は。

（福祉事務所） 三条市の老人福祉センターは、60歳以上で200円くらいの料金。燕市も200円～300円くらいだと思う。同様の施設（県央地区）について、今後、調べていきたい。

（質問・意見） 田上町では200円だと思う。加茂市だけ料金を高くするのはよくないので、近隣と同程度にし、バランスをとると良い。

（福祉事務所長） コミュニティセンターのような入浴施設は近郊にはなく、須田と下条のコミュニティセンターは市外からの利用が多い。

なお、老人福祉センターのような入浴施設は近郊にもある、加茂川荘も同じく入浴施設はある。

（質問・意見） コミュニティセンターは赤字（1億円）が大きい。平成30年度は15万人以上が使っているの、料金を100円上げれば1,500万円増になる。受益者負担の原則から市民に値上げをお願いすべきだと思う。

ただし、負担を考え70歳以上は100円にして、70歳未満は200円、市外の方は少なくとも50円アップで試算をしてはどうか。また、生活困窮者などは減免にして無料を継続してはどうか。

（市長） 皆さんの意見を聞き、近隣の市町村との比較、受益者負担など考慮する。

200円を示したが、利用者数は減るかもしれず、単純にこのままの数字にはならないかもしれない。シミュレーションを行ってみる。PTで出た案を皆さんにお示ししたい。

（福祉事務所長） コミュニティセンターでの受付で、年齢や、市民か市外から人かの確認が難しい。

皆様の使い勝手が悪くなるなどの点も考えられる。料金を一律にするか、差をつけるかなど考えなければならない。皆さんの意見も聞きたい。

（質問・意見） 今回の資料にある市民バスと、コミュニティセンター、美人の湯とでは性質が違う。市

民バスは大切な市民の足である。

(質問・意見) コミュニティセンターは月曜日が休館日だ。風呂は一日置きにして、燃料費を減らしてはどうか(70歳以上は一日置きでも良いのでは)。

(福祉事務所) PTや職員で検討する。

(質問・意見) 70歳以上の入浴者を区別するために、国民健康保険証のコピーを持参してもらってはどうか。

(福祉事務所長) コピーの持参などで、皆さんの手を煩わせるのがどうかと想っていた。検討していきたい。

(市長) PTの中で料金設定の話はでているが結論はまだでていない。案ができれば、皆さんにお知らせしたい。

(質問・意見) コミュニティセンターには避難所という役割がある。このことに対して国からの補助金はあるのか。

(副市長) 経常的な経費に対しての補助はない。災害が起きて災害救助法対象で避難所になった場合には、後日、国から補助はある。

(質問・意見) コミュニティセンターの料金はシンプル(一律)にしてほしい。年間パスポートを作ってはどうか。

(福祉事務所長) 年間パスポートは良い案だと思う。これらも含めて検討したい。

(質問・意見) 北コミュニティセンターを地区の集会所にして、管理人を置かなくてもよい。

入浴施設のないコミュニティセンターはいらない。

(市長) 北コミュニティセンターの件は議会でも、入浴施設のないコミュニティセンターは管理人が不要だと提言があった。

上町コミュニティセンターはNTTに年間約800万円の賃料を支払っている。今のところは廃止しようと思っている。まだ、具体的にはなっていないが、上町コミュニティセンターを使っている人もいるし、サービスセンター機能を移す場所も検討しながら決めたい。

## 美人の湯について

(質問・意見) 年間1億円の赤字がでている。PTでも公設民営の話はあるか。

(市長) 美人の湯に限らず施設に関しては公設民営を考えている。委託する民間の相手を探す方法も含め検討中。

(質問・意見) 他市町の民間入浴施設では、回数券やイベント、ポイントカードもある。これらの話もPTででているか。

(美人の湯所長) ポイントカードは既に行っており、毎月26日はポイントが3倍。  
回数券は販売中(例. 入館料 大人800円 → 11回券7,700円)。  
イベントは10月20日に歌謡ショーを行う。今後も予定している。

(質問・意見) 送迎費用について、団体無料を片道1,000円にしてはどうか。  
また、市民1人100円にしてはどうか。

上越市は、市が所有する12カ所の温浴、宿泊施設について活用方法を検討するため、民間事業者から意見やアイデアを聞く「サウンディング型市場調査」を行うと新聞に出ていた。有益な意見を聞き、市民の大事な財産を守って欲しい。

(市長) 上越市の方法は良いと思った。広くオープンにし知恵を集めるのは良いと思う。

(質問・意見) 毎年、1億円の赤字になっているが、市はそれで大丈夫か。

(市長) 現状を続けるのは厳しいので、変えていかなければならない。今ある美人の湯を廃止する意見もあるが考えていない、民間委託を探すのも時間がかかると思う。

今の状態で、イベントなどを行いつつお客様を増やすことを考えている。それでも、赤字が続いたら、もう一度考え直さなければと思っている。

(質問・意見) 小手先で赤字を埋めてもだめだ。美人の湯は廃止すべきだ。

(副市長) コミュニティセンターも美人の湯も、当初の目的があった。1億円のマイナスを覚悟できないので相談している。民間に委ねる案もある。

美人の湯は、源泉を使っているため清掃(3年に1回)などの経費がかかる。沸かしたお湯で運営しようという話もあり、湯の花を使うと4,000万円節約できる。

いろいろな方法を探り、赤字を減らして、市民の皆さんに使ってもらうことを考えなければならない。将棋や会合をする人もいるし、福祉施設としての考え方もできる。

一律、お金のかかるものをやめてしまうのは、どうかと思う。

負の財産として考えるとやめることだけになる。

有効な財産として活用するのが大切だと考えている。

健康づくり施設としての活用なども検討している。

(質問・意見) 入館者数が右肩下がりの原因は。

(美人の湯所長) 設立当初は温泉ブームで良かったが、最近は下がっている。近くに七谷コミュニティセンターがあり、市内の各コミュニティセンターでは年間で20万人が利用しており、これも関連している。

(質問・意見) 美人の湯と七谷コミュニティセンターが競合しているのか。

(美人の湯所長) 各コミュニティセンターと競合しているということだ。

(質問・意見) いい湯らてい(三条市)は、食に取り組んでいる。

(美人の湯所長) 食が一番だと思っている。美人の湯は料亭組合が提供しているので、そこと会議を開いていきたい。

(質問・意見) 美人の湯廃止の意見もあることを真摯に受け止めてほしい

(市長) きちんと受け止めます。

(副市長) 廃止も選択肢の1つにあります。財産としての価値を高めたいと思っています。

(質問・意見) 美人の湯の問題は、利用客が少ない、リピーターがいない。市民でありながら行かず、他の施設に行く、魅力がない。

ハード(建物)は良いが、ソフト面が悪い。前市長のせいかな。リピーターを増やす方法をどのようにしていくのか。お客様が来るようにお願いしたい。

夕張市のようにになったら(美人の湯は)廃止だ。美人の湯も(瀬波温泉・汐美荘のように)大江戸温泉物語グループにしては。

(市長) おっしゃる通り。リピーターを増やす方法を検討したい。

(質問・意見) 福島県只見町の日帰り温泉施設ではコンサート(ワンドリンク付き)を行っている。

美人の湯でも送迎バスを使ってライブコンサートを行ってはどうか。

フォーラムでも行えば県外からの参加者もいる。例えば、著名な先生が招いての健康フォーラムは。

(健康課長) イベントを、まち全体のデザインで考えている。コミュニティセンターや美人の湯で、健康づくりイベントを考えている。

また、まち全体の健康づくりを考えているところです。民間の人とも話している。フォーラムなども良いと思いました。

いい湯らてい(三条市)では、ライブを行っている。地元の吹奏楽部のライブも。

屋外での開催も良いかもしれない。オートキャンプなども。

可能性はある、一つずつ、できることから取り組んでいきたい。

(質問・意見) 美人の湯は、どのくらいの湯が出ているのか。

(美人の湯所長) 毎分9リットル、温度は35度くらい。

(質問・意見) 建設当時は、有馬温泉のようだと宣伝していたが、今の話を聞くと虚しさを感じる。

## 市民バスについて

(質問・意見) 特別交付税が8,000万円ある。今後も受けられるのか。

(企画財政課長) 現行制度では8割入る。現在のところは、この制度が続くと思っている。

(質問・意見) 市民バスの利用者について、高柳線は1日44.1人だ。(1便あたり)29人乗りで約3人しか乗っていない。1つの路線で誰も乗っていないときがある。バスの運行ダイヤを根本的に練り直してはどうか。

人が乗らないバスが巡回するのは無駄のようだが、大切な足だと考える人もいるので、十分検討してほしい。

また、長福寺・希望ヶ丘方面の路線では、何度も繰り返し加茂駅を經由している。加茂駅を外すなどルートの見直しもお願いしたい。

(副市長) おっしゃる通り。(資料の表の) 白い部分などは全く乗っていないところもある。

今まで通りに運行しているのか、年間8万人も利用している大事な市民の足なので考えなければならない。

運行の仕方など、定期的に乗るところは必要だ。

市内タクシー業界への相談、デマンド交通、他市の状況、バスの大きさも考える。

小型バスや、ハイエースのようなものの運行も検討が必要だ。

(質問・意見) インターネットで、小型バス(ハイエース程度)は300~350万円とある。

従来のバス買い替え時には選択肢の1つとしてほしい。

高柳線や長福寺線などのバスに福祉事務所職員だけではなく、職員自身が実際に乗ってみてはどうか。

バスの運転手さんとの対話を市長が行ってみてはどうか。

(市長) 職員、私も含めて必要だ。運転手さんと直接、話を聞く機会を設けたい。

(質問・意見) 美人の湯のシャトルバスもいっしょに検討してほしい。市民バスの高柳線と美人の湯バスが同時発車することがある。曜日や時間の柔軟な工夫や、美人の湯シャトルバスのダイヤの検討をお願いします。

(福祉事務局長) おっしゃる通りです。乗らない時間帯もあるので、バスの全体を考えたい。加茂市の状況が他市の状況とは一致しない。まずは、やってみようということになるかも。

すべてを含めて検討する。

(質問・意見) 高柳線の急行は何ですか。

(福祉事務所) 急行バスは、何箇所かのバス停を止まらず、運行していました。要望があり、この急行バスを設けました。

(質問・意見) (周知されていないことに) ちょっと怠慢ではないですかね。

(質問・意見) 市民バス、スクールバスも多い。それらも含めて総合的に考えてはどうか。

市民バスに児童・生徒が乗り、学校近くのバス停に降ろしてはどうか。効率を良くしては。

(市長) スクールバスと市民バスは目的が違う。交付税が違うので、単純にいっしょにはできない。

(企画財政課長) スクールバスは30台運行している。安全面を考え台数を増やした。

運行の目的が違う。スクールバスは時間の変更が多く、低学年や行事利用、学校行事でスクールバスを使って出かけることもある。検討課題ではあるが難しいのが現状。

(質問・意見) 1. ダイヤについて、加茂病院の通院での利用に配慮をしてほしい。

2. 座談会は前回400人が参加、今回を含めると延べ1,000人程度。1,000人弱の意見で決め

るのはいかなものか。

(市長) 1. 市民バスで加茂病院へ行く人は多いと思う。どこで乗り降りするか、時間帯などのデータも必要だと思う。

2. もっと広く意見をもらう方法としてパブリックコメントがある。ホームページ上に資料を載せて意見を募る方法を考えている。意見を言いたいけれども、言う機会のない人に対して集めたい。意見を言うことのできる機会を増やす方法を考えている。

(質問・意見) パソコンがない、高齢者や子どもの意見はどうやって集約するか。PTで検討してはどうか。前回と今回の情報を市民に知らせてほしい。

(市民課長) パソコンがなくても、パブリックコメントは手紙でもできます。市役所の市政ポストを利用してほしい。

(質問・意見) 仙台市ではバスに広告を載せている。キャラクターを市民バスにつければ、子どもに分かりやすく宣伝になる。

(福祉事務所長) バスの広告とかホームページ上の企業広告、市民バスでも利用したいと考えている。ネーミングライツなど、いろんな広告を検討している。

(質問・意見) バスの運転手のマナーを考えてほしい。バス停で乗りたい人を残したことがある。

それと、バスが古く、錆びていて加茂市のイメージが悪くなる。

(福祉事務所長) 運転手には注意していく。何かあったら連絡してほしい。

バスの修繕費がかかっており、小型化なども考えていく。

(質問・意見) バス料金を下げてはどうか。市役所～水源地は640円かかり、JRの加茂駅～新潟駅(590円)とっしょくらいだ。400円くらいにならないのかと思う。

(福祉事務所長) バス料金は蒲原鉄道の路線バス運賃がベースだ。今後、考えていきたい。

デマンド交通やタクシーなどの料金形態なども含め、全体的に検討していきたい。

## 市政全般について

(質問・意見) 1. 資料に基づいた説明は分かりやすい、継続して説明会をやってほしい。

2. 市民目線の市政を行ってほしい。以前は一部の市民のための市政だったと思う(例. 生田屋)。

3. 期限(目処)という考えをもって取り組んでほしい。

4. 市民27,000人の市議会に市会議員が18人は多いと感じる。

(市長) 1. 今後も資料に基づいて行おう。

2. 市民目線の市政を心がける。座談会も私の考え方が市民とかけ離れているかを確かめる場となっている。課題について話し合う場は設けていきたい。

3. 期限を設けて、目標を決めることは大事。PTや財政健全化計画で決めていきたい。決められなかった場合は、市民に説明していきたい。計画は来年度から3年間、その中で期限を決めたい。

4. 議員数については議会で話し合うもの、議会に伝えておく。

(質問・意見) ごみ焼却施設についてはどうなるのか。

(市長) ごみ焼却施設と、ごみの分別方法は市民の皆さんが気にしている。

ごみ焼却施設についての計画を作る予定。

ごみの分別・有料化についても、あわせて検討し、広報を通じてお知らせしようと思う。

(質問・意見) 1. 座談会に若者の参加が少ない。学生や20代との座談会や、新潟経営大学での座談会も考えてほしい。

2. 新潟経営大学が胎内リゾート(胎内市)と包括連携協定を結んだ。美人の湯も行ってはどうか。

3. 質問者の意見が聞きづらい。司会が要約して説明したほうが良い。また、質問者に対する返答ではなく、市民に対して行うような、市民に伝わるような返答にしてもらえれば良いと思う。

(副市長) 1. マスコミやSNSでも話はあるが、若者の声が反映されていない。各種団体、農業など、いろいろな人を交えて会合がもたれば、いろんな発言がでるのではないか。

2. 加茂市も遅ればせながら、新潟経営大学との包括連携協定を結ぼうと話していた。国際交流やインバウンドを考えると、市役所だけでなく、地域として大学(観光経営学科)の先生や商工業、金融機関等いろんな団体と連携し、これらのノウハウを活かし、地域が一体となって、交流人口増を図っていきたい。

(司会) 質疑応答などについて、レポートや確認しながら話すよう、今後は心がけたいと思います。

(質問・意見) 子どもの教育問題について、少子化や心の教室、フリースクールなどは、昔はなかった。

加茂西小学校は入学した児童が6人、七谷小学校は4人。教育のことを考えると大勢の学校で競争させるのも良いと思う。三条市の小中一貫校(大崎学園)みたいに。

思春期になり少人数からの学校の生徒が、女子と話せず不登校になったなどと聞くと情けない。

コミュニティセンターも大事かもしれないが、子供たちへの教育が大事。

大学を出ても、大きい会社もないので加茂に帰ってくることがない。活力のある教育を行ってほしい。

(市長) 統廃合も関係してくる、今日ここに教育長はいないが、教育委員会で話をしている。

学校の適正規模や環境、子どもの人数、地域性(地域の意向)も関係する。

加茂市の将来を担う、また、(子どもは)市の将来そのものだと思っている。

教育環境を整えるのは大切だと思う、予算も取っていきたい。お金がないことを理由にしないようにしたい、子どもの将来を考えて、しっかりと取り組んでいきたい。

不登校について、いろんな悩みをもっていると思う。子供が環境に合わないことがあると思う。どうしても学校に行けない理由がある。その子の状態を認めることが大事。

学校には行けないが、(勤労青少年ホーム2階の)やすらぎルームへ行ける子どももいるし、やすらぎルームから学校へ行くことや、そこで時間を過ごしながら卒業する子ども、高校へ行き、いまは働いている人もいる。

(質問・意見) 1. 経費節減。市の補助金減に取り組んでほしい。視察と呼ばれる観光旅行はやめてほしい。

2. 空き家問題。地域活性化のため空き家を集会所にはどうか。旧法務局も集会場に。
3. スクールバスが必要かどうか（高須町1やアパートはバスに乗るが、栄町は乗らない）。

（市長） 1. 視察が観光旅行にならないよう、日帰りを心がけている。市当局も行政の参考にするため他市に行くことがある。最近燕市へ、健康課と福祉事務所とで視察に行った。近隣でも参考になることがあるので、積極的に出かけたい。現場に行くに行かないでは違う（現場の声を聞く）。

（副市長） 2. 旧法務局加茂出張所は防災用の資機材が入っている。防災用の資機材を旧法務局へ集中して置くのではなく、分散して保管したほうが良いという話もあり、検討も必要。

空き家の有効利用については、相続人や所有者がはっきりしない状況がある。空き家でも定期的に帰ってきて手入れをする人もいる。

しかし、何も手入れをしない空き家は、犬・猫が棲み着いている場所になっている。

空き家等対策の推進に関する特別措置法ができて、市で行政代執行ができるが市費がかかる。

また、空き家を寄付していただく管理しなければならない。寄付を受けた空き家を区で管理できるのは難しい。総論賛成各論反対となる。

まずは、実態の調査をすすめ、所有者に訴え続ける。条件を整えば（区などが）施設として利用することもある。

3. 高須町と栄町のスクールバスの区切りは、学校を中心にして半径何キロということで分けるが、スクールバスの対象地区でも、あえて歩かせたいという地域の意向もあったのでは。通学の安全確保のためスクールバスを使っているが、健康のために集団登校が有意義という意見もある。

（質問・意見） 経費節減のためスクールバスをやめてはどうか。

（副市長） 教育の観点からスクールバス減はいかがなものか。

財政問題でいうと、市が保有しているスクールバス1台につき、普通交付税で600万円算入される。

購入経費に対してではなく、ランニングコストに対して600万円。

（質問・意見） 1. 敬老会廃止について、来年度以降はどうか。

2. 加茂病院の存続について。

3. スクールバス、市民バスの運営。期限は。

（市長） 1. 今年度に入り、廃止を決めた。楽しみにしていた人には申し訳ないが、それだけ財政が厳しいということ（1,100万円の節約）。

地域で敬老会をやりたいところがあれば、市として支援を考えている。

記念品は来年度も同様に、88歳と100歳の人。

加茂病院がなくなるとか、統廃合はないと思う。具体的な話はない。

（健康課長） 厚生労働省が国内の公立病院や公的病院の再編を発表したが、私も新聞などで情報を得た。行政経由ではなかった。

この発表をもって直ちに運営に影響させるものではないという県当局の意見もある。

また、県央医療圏の問題、役割をどうするかは調整会議を行っている。地域のもの、県全体のものとして考えなければならず、今、加茂病院に何かが起こるわけではない。

（企画財政課長） 3. 期限をきめて、やめるのかなど考えを聞きたい。

ホームページ、封筒、バスについても広告をとる方法を考えている。ネーミングライツは難しいが、すぐできるものは取り組んでいる。

(質問・意見) 定例の記者会見について、広報かもに要旨を載せてほしい。

9月議会で国民健康保険の保険料収納率が悪いとあった。滞納する人が悪いが、水道料金についても滞納したから水道を止めるのでは人命に関わるので慎重な対応を。

(市長) 記者会見の内容は広報かもで伝えたい(記者会見内容をホームページには掲載済み)。

払えるけど払わない人への対策を行っていききたい。今までは対策をとっていなかったのが現状で、これからは、しっかりと対策していききたい。

個人の状況を見て、命の危険は考えながら、慎重に対応していききたい。なるべく公平に払える人からは払ってもらいたい。

(健康課長) 国民健康保険の保険料を1年間滞納すると国民健康被保険者証を返還してもらいます。

保険料を収めてもらえば保険証を戻します。(滞納者への対応で)短期被保険者証というのもあります。保険料を収めていただく意識付けや、さまざまな対応を担当のなかで準備しています。

(質問・意見) 美人の湯の集客力。イベントが少なすぎ、さぎの湯(三条市)はイベントが多い。

市民にはボランティア精神旺盛な人もいる、美人の湯をお手伝いする人を募集すれば良いと思う。

(市長) たくさんの人から来てもらう方法を考えなければならない。市民の力、企画力、職員の力をつけたい。民間の知恵も拝借したい。

(質問・意見) 財政健全化について、聖域は設けているか。

(市長) 聖域なしで行っている。PTですべての項目で削減できるところは削減している。

しかし、今まで予算がなかったが、予算をかけたほうが良いという意見もある。

(質問・意見) 市債の発行はどうか。10%の利子をつけて。

(企画財政課長) 市債は基本的には建設事業に対して借りられる(道路整備や建設など)。

ミニ公募債。三条市が住民参加型市場公募地方債を行っている。利息が少ないので、最近は行われていない。発行の手数料が高く、市民にとっても市としても利益が少ない。

(質問・意見) 議員の報酬を下げてはどうか(議員立候補者がいなくなる懸念も)。

(市長) 今議会で日当を下げた。議会に報酬減や定数減の意見があったことを伝える。

※質問や意見交換のときに、一部聞き取れなかった部分もありました。ご了承ください。